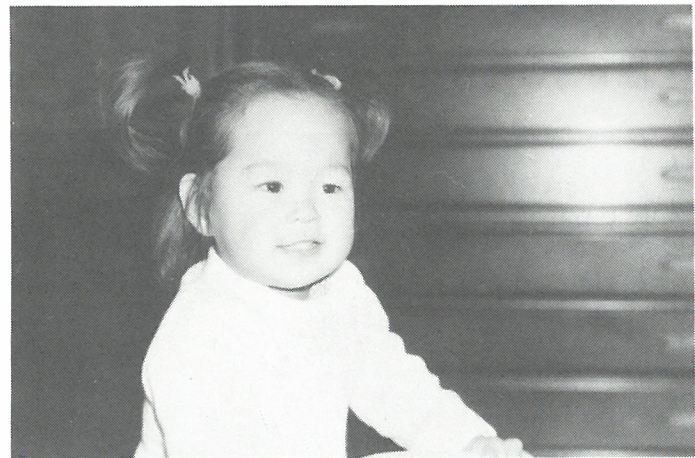
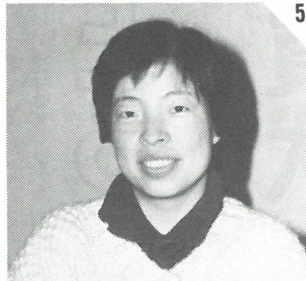
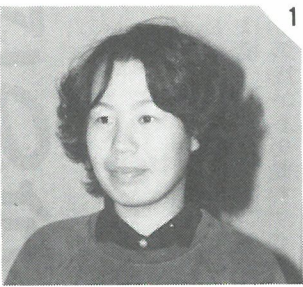


三春 わが街

■コミュニティだより

■発行 三春まちづくり協会

■編集 三春まちづくり協会調査広報特別委員会



増子あゆみ(一本松)ものまね大好き。「ボンキッキ」は
みのがせない

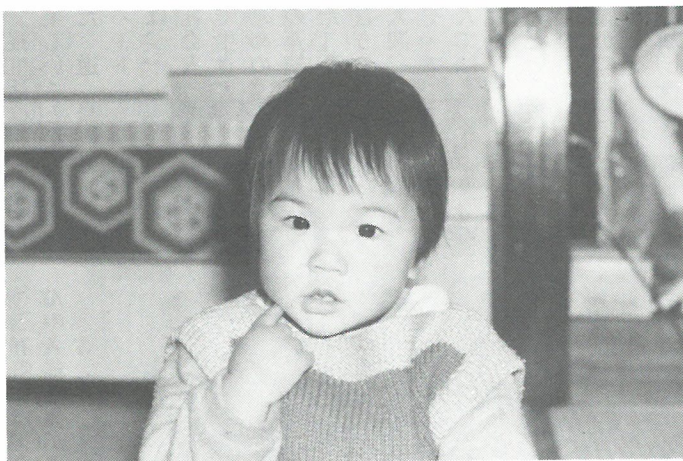


橋本アヤ(小浜海道)人見知りしません。
「お母さんといっしょ」一番好き

健康優良児・さわやかスナップ

わが街の
ハッピー
ニューパワー

みよ!この瞳・この微笑



佐藤直美(北町)お姉ちゃんの机で遊ぶのダーイスキノ



村上俊太郎(一本松)子犬のチツチと仲良しナンダノ



春山裕輝(大町)リリリン・電話なら僕にマカセナサイノ

鈴木佐和子(八幡町)マンガ、絵本、それにパパの週刊誌
も見ちゃう。



?ママあてクイズ

お母さんを当てて下さい

答えは⑤ページ

あけましておめでとう

特集 わたしからの年賀状

君たちがいて

僕がいた

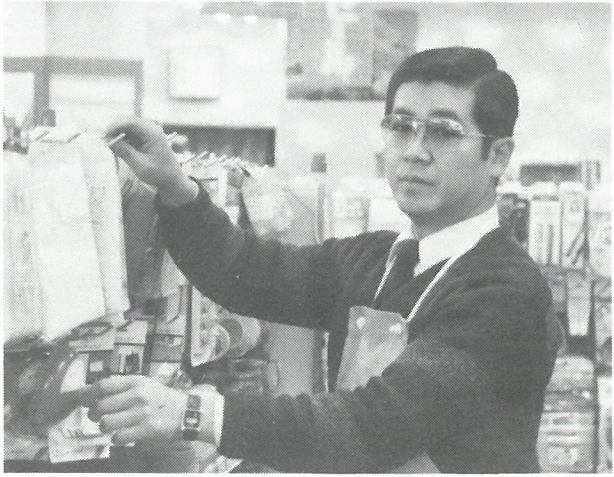
橋本 俊宏

中町 中町
自営業

私は、高校を卒業して、東京に就職しました。東京には八年前に在任して、七年ほど前に帰ってきました。

東京での生活は、会社の寮生活を四年間、アパートでの一人の生活が四年間でした。寮生活は、若さゆえ大変楽しいことが沢山ありました。逆

にアパート時代は、一人の社会人として生きぬくための試験の連続でした。それと、言うのも、人間、何をやって一人ではいけないという事です。必ず誰かに世話になるか、協力し



てもらったことです。私は、その時自身自身の力の弱さをしりました。

私は、中学時代より軟式テニスをやっており、東京に行ってからあらゆる大会に出場してきました。そのおかげで、多くのテニス仲間を得ることができました。一緒に酒をのみ、徹夜でテニスのことを話合ったものです。その時の事を思い出すと、必ず私の頭の中に浮かんで来るのは、「君たちがいて、僕がいた」です。

私もいくつかの団体に所属し、自分なりに出来ることは精一杯やって行こうとする気持ちがあります。私の言う、「君たちがいて、僕がいた」とは、本音で人と接することです。私は、これからの人と接する機会は、数多くあると思います。一人でも多くの人と友だちの和を広げていきたいと思っています。そして、三春町に現在住んでいる人みんなが心の扉を開く事によって、三春町の今後に新しい何かが生まれるのではないのでしょうか。

私の理想の街

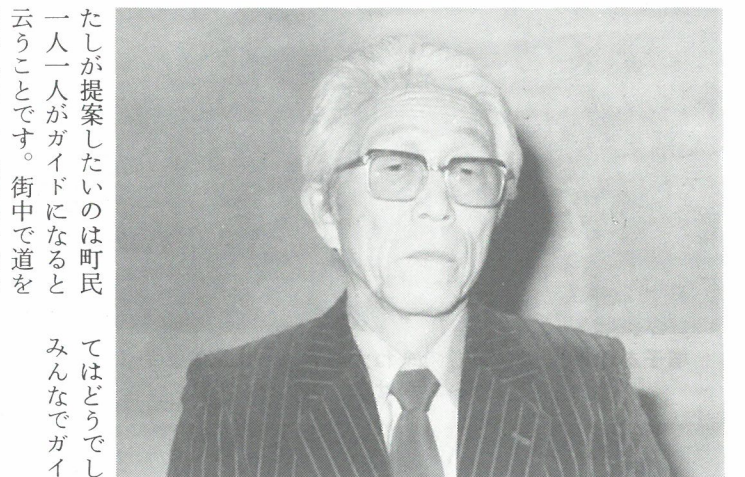
山口 好子

鶴時田 飲食店

前号の特集、まちづくり座談会では、街の理想像まで、全てが語り尽くされておりましたけど、もう一押ししてみたいと思います。まちづくりはひとづくりからと聞いたことがございました。資本投入しての街づくりは、目に見えて確かな事ですが、ひとづくりとなると、結果を見るのは容易でない。しかし、自分を中心に1m四方からなら誰でも今すぐ始められるのではないのでしょうか。



学業や仕事で遠くへ出た人が何年たっても故郷恋しく思う時、急ぎ足で帰る街無心に遊ぶ子供、目もとの生き生きとした若者、ゆつたりと安らぐお年寄り、そうした人たちがいっぱい見られる街、いつまでも長生きしたくなる街、子供を育て安心して送り出せる街、行き交えば視線を合わせて、「こんにちは」と挨拶する人々の街、古い文化を慕いながらも新しい文化にも感動し、喜び合える人々の街、そんな街でありたいと思います。



です。各案内の活動の外に町民一人一人にガイドになってもらって商店街の活性化、町の発展を願ってゆきたいものです。パッチとかワッペンなどを手作り希望者にはつけてもらって活動していただい

川西町は、山形県の南部にあり、「もみの木は残った」で知られる、原田甲斐の祖父の館が、あった所で、その館の一角になるダリア園は直径四三cmのダリアの花が、六〇八種、一八〇〇株植えてあるという町です。町には、羽前小松駅、中部駅、大川駅、西大塚駅と言う、四つの駅があります。羽前小松駅を除き、すでに三つの駅は、無人化されております。

自らの手で

まちづくり

渡辺 久美江

大町 飲食業

まちづくりを、考える時田村地方交通問題シンポジウムでの、山形県川西町の横沢町長さんの話が、思い出されます。

その結果、川西町の住民が、自分達の駅なのだからこれを、自分達で、何とか、維持しようと言う雰囲気になったのだそうです。そして、住民と、町とが一体となって、行政に働き掛け、全国で初めての、町営駅が、誕生したのでした。川西の様に、我が町も、川



私は三春町に生まれ、育ち、やがてうずもれる一人ですがほんとうにすばらしい町だと思っています。「故郷は遠くにありて思うもの」と云われておりますが、この言葉を三春の場合「故郷に住んで思うもの」とおきかえてみたいと思います。このすばらしい町には歴史的な文化財も多く、仏像寺社仏閣は勿論三春張り子など町人、農民による文化の遺産が多くあります。このため町外から訪れる人は毎年増すばかりです。現在三春町観光協会、町公民館などが主体になって宣伝、案内などをしていますが、つ

たしが提案したいのは町民一人一人がガイドになると云うことです。街中で道を聞かれたり、民芸品を求めたいがその店は、目的地への距離、方向、所要時間などたずねられた経験をもっている人は少なくないはずで、学校など休暇に入ると大学生、先生方等勉強のために来町される人が多いようです。私は、三春のガイドマップを自宅に備えておいて利用しています。昨年も遠く三宅島からみえた老夫婦に出会い資料をもとにいろいろのお話をしあげましたところ、帰宅後丁寧な礼状が届き、新年には年賀状までいただき近くまた訪ねたいとお便りに大変感激いたしました。今度はもっとお話をしたいと胸をはずませています。

私は三春のよき、事情などをもっとよく知り、勉強して町外からの方々に伝えたいという心掛けるべきだと思います。そして、もっと親しみをもち町外からの人に接してゆきたいと願うもの

西町に負けず、町民の為に町づくりを、自分達の手で進めたいものです。町づくりは、行政の一部の人の力で、出来るものは、ありません。住み良い町にするには、町民みんなが、自分達の手で、自分達の町づくりを、進めて行かなければ、成功は、しない。川西町の横沢町長さんはおっしゃって下さいました。川西町に咲く、直径四三cmのダリアの花、この私達の住む、三春町にも、咲かせて、みたいものです。

青年活動について

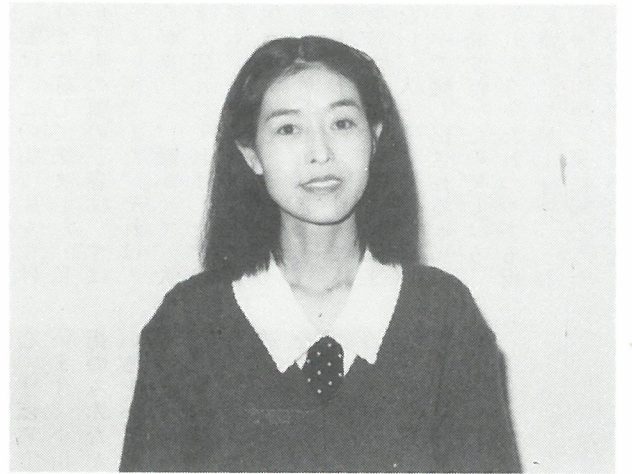
松本 充弘
丈六 理容業

私は、公民館主催の青年学級に参加していますが、参加人数(約十名)でもわかるように、あまり活動的とは言えません。町内の人々は、青年学級が存在さえわからないくらいです。私も友人達に、こんな楽しいサークルがあることをアピ



ールしているのですが、聞く耳さえ持ってくれません。青年団も旧町内だけありません。各地区の青年団は、すばらしい活動をしており地域の人もその存在を認めています。

私をふくめ若い人達は、自分の力を交える場があるのですから積極的に参加すべきだと思います。ちょっと聞いただけで、活動の内容も知らず、非難しないでまずは参加してみたいか



子育ての中の食

松崎 次子
八幡町 主婦

し、安全な物で、食を維持するのは困難でもあるでしょう。

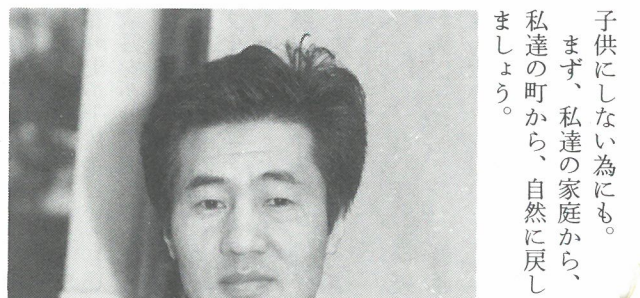
私が、三春に住むようになり、早や、十年になりました。町の祭り、字の運動会、子供会行事と、すぐ身近な所で催される行事に、自分又子供達が、参加できる事の喜びに、「わが街」の思いを強くし、子供共々この町で成長させていただきました。

多様です。表示を見ては、タメ息をついて陳列棚に戻す私を見て、子供もいつか敏感になり自分から表示を見るようになりました。いつか買物に行った時の事です。漬け物がなくなっていたので、少し買って帰えろうと何げなく「こんなもの、おいしそうね」とカゴに入れたら、子供が、「これは、合成着色料って書いてあるよ、気持ち悪いよ」と。私もドキッとしながらも「たまにはいいかな」と思いつつも、子供の手前いつもの姿勢をくずせませんでした。こうして一つ一つ防げる物は、防いで行きたいものです。

今、三春町を思う時、私は、まず第一に、城下町であることを忘れてはならないと考えます。

ふれあい

飛田 昭司
山崎 技工士



達は、商店街の人達との付き合いがあまりないと思います。商店街の人達から積極的に呼びかけをしてほしい。



友情の輪

三條 昭子

いと思います。そうすれば、商店街の人とサラリーマンの人の、コミュニケーションが生まれてくるのではないのでしょうか。

縁あって、三春の大町に嫁いで、十五年が過ぎました。夢中だった様な、のんびりきってしまった様な気持ちとが異様です。まわりどこを見ても商店街。どこの店でも、忙がしさに自由も無い。私も、このままで良いの

美しい三春町

石山 郁子
荒町 主婦

三春町合併三十周年記念式典に善行表彰を受けられた吉田イネ先生の代理として出席しました。先生は長年に亘り華道を通して子女の育成にあたり、更に公共の場に花を生け、町の環境美化に寄与されたことでこの榮譽を受けられました。先生は、生前から「花を愛し清く美しい心」と、教えられていました。私たちも先生に続いて美しい町づくりに努力しなければと感慨を深くしました。



県内で約三百人の高齢者人材名簿に登録していただいていたから、三年が過ぎました。若輩で、知識も技能もなく何の取柄もない私ですが、とにかく、どんな事でもいい少しでも、これからお役に立つ

若い人達に、私たちの歴史を伝えてゆくことの大事なことを、認識させられました。私も一昨年から、あぶくま荘の皆さんと一緒に、昔の良さを語り、昔の歌を唄ったりなどして、御相手



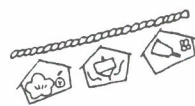
このように

三春町に

橋本 和子

清水 寮母

私は、この街で生を受け今まで暮して来ました。私が子供の頃の三春は、すばらしい街でした。それは、心があって、暖かくて、大きく包んでくれました。自然も、人の心も、親も、先生も、大人も、みんなが。今より物質的にはきつと、貧しかったはずですが、でも物やお金では補う事が出来ない、人と人との触れ合いの中で醸し出される本当の人間愛だったのでしょ。それが今失われつつある街に淋しさを感じます。「和ちゃん、早く家に帰ろう」「今日は淋しそうだけど、



三春物語の

刊行

太田 弘 永作

史書、仮に表題をつけてみれば「三春物語」というようなものが刊行されれば、広い範囲のしかも多くの人達に読まれることになり、それなりの効果が必ずあるのではないかと思います。

近頃思う事

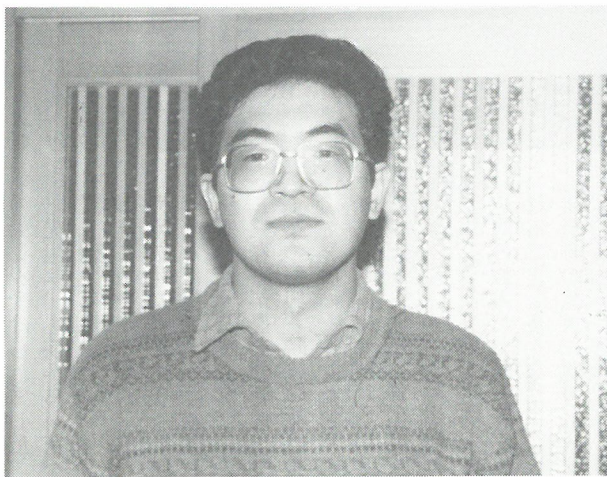
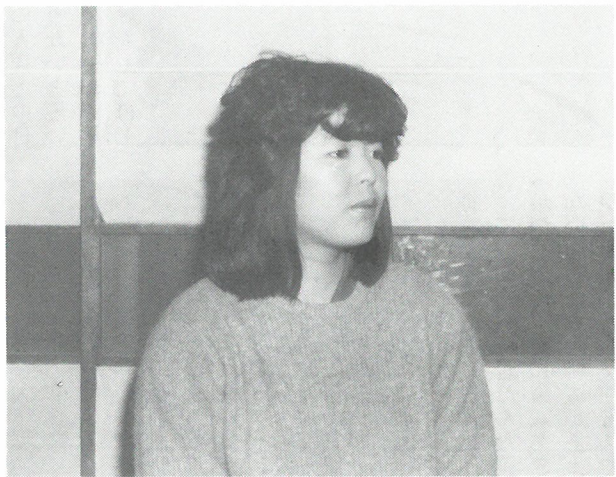
伊藤 民子

北町 銀行員

最近の子供達は、お稽古事に学習塾、遊びといえばテレビゲームにパソコンなどといわれています。

私は、子供達と時間帯が違うせいか、外で遊ぶ姿を見かけることが少なくなりました。

しかし、この町史を一般の人が手にして読むにはあまりにも大著すぎ、容易に読めるものではないと思います。そこで、気軽に寝転んでも読めるような物語り式の



今年の抱負

田村 功

清水 臨床検査技師

遊び場が少なくなっていることは確かなのですが、まだまだ三春は、外で走り回ることができるのですから、自分たちで遊びを見つけて、元気に外で駆け廻ってもらいたいと思います。

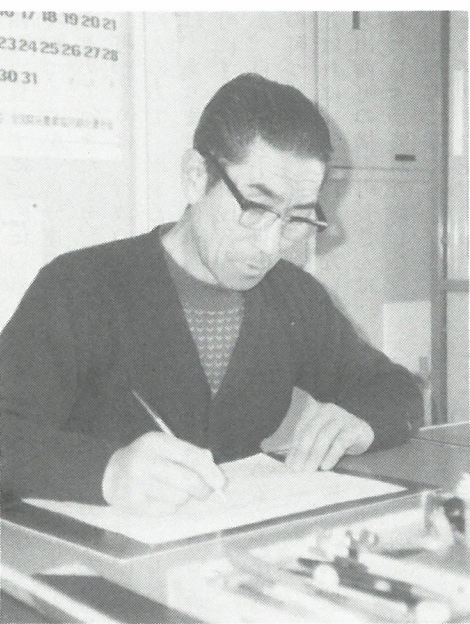
現在私は、臨床検査技師として医療に従事しています。その関係上、健康ということに大変関心があります。健康には、心の健康と身体健康の二つがあるわけですが、昨年を振り返って見ると、どうも心の健康が保たれなかった様に思います。三春に戻って来てからの四年間は、ただ郡山の職場と家を往復するだけで、町内の行事や催しに参加する事もなく、人づきあひも限られていました。ですから、休日に町中に出てもなんとなく落ち着かなく、健康を害しているような気持ちでした。

ですから今年は、……とは言っても、毎年この時期には何らかの誓いを立て、その度とげられずに終って

今年の抱負

三浦 孟

清水



素朴さを態度で示し、美しい三春の心も旅のおみやげにさしあげたいと思います。私は三春の文化を愛し誇りに思っています。先人の築いた文化を引き継ぎ更に立派なものとしていきたいと思っています。

登録者の皆さんは、生活スポーツ、健康、団体活動、教養、教育、趣味、生活技術に関するものなど、多種多様にわたり、夫々の分野で活躍されております。科学が進んでも、この様な先人達が残してくれた、伝統の美しさ、すばらしさが見落され、失はれて行く事のないように、勇気をもって、

しまいますので今年はおま
り気を張らずに、出来るだ
け町の行事にも参加して、
少しでも多くの人々と話す
様、努力して、心の健康に
つとめたいと思います。



今年の抱負

覚方 洋子

新町 保母

あわただしかった師走も
過ぎ、本格的な寒さのこの
ごろとなると、毎年同じこ
とを考えてしまいます。
「去年はあれで良かったの
かな」と。

その時々は一生涯をやっ
ていくつもりでも、一年を
振り返ってみると、「もっ
と何かできたなあ」「ああ
もすれば良かった」と後悔
することばかりです。

仕事のことだけでなく、自
分の働きかけに対しての結
果が見えてから、こうした
方がよい結果が出たのにと
やってしまったから気付く

ことが多いのです。次回は
こうしようと思うのですが、
実践するのはなかなか難し
いものです。

出来た桜川が、いつのまに
か下水兼用のどぶ川になっ
てしまいました。

二十数年も郡山通勤して
いると、外からの声に耳に
入ってくるものですが、あ
るとき、御主人の転勤で全
国を廻っているある奥さん
に「郡山支店に来てまもな
くの日曜日、三春は、城下
町と聞いたので、由緒ある
すばらしい町だろう、夫と
一緒に行ってみたら、川は
汚いしどこにでもある田舎
町でがっかりしてしまった」
と、私が、三春に住んでい
るのを知って話されたとき、
何んと答えてよいか困って
しまったことがあります。

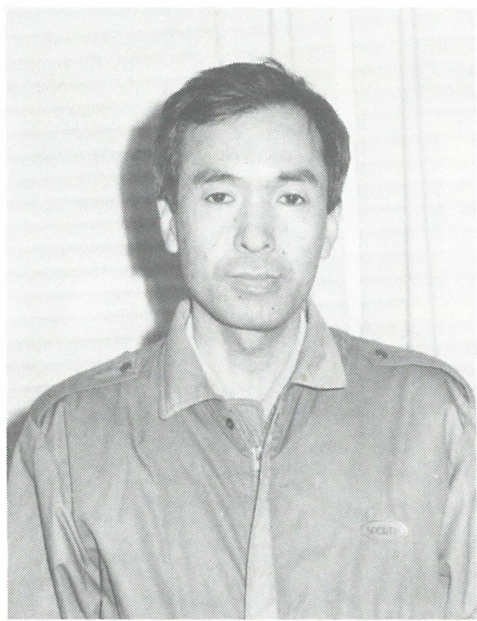


三春を 美しい街に

中村 功二

一本松 郡山郵便局

「桜川を清流に」が私の
夢です。かつて、水遊びが



三春を観光地にしたいとは思
いませんが、「三春」とい
う地名に郷愁を求めて訪れ
る人に幻滅感を持たせない
だけの美しい町にしたいと
思います。

桜川に、緋鯉を泳がせる
ことは、不可能な夢でしょ
うか？
三春は、自由民権の発祥
地らしく、改革と平和を愛
する多くの人々が住んでい
ることが、楽しいし、好き
です。

体力づくり

橋本 あや子

御免町 主婦



私は、家事をしながら、
家の中で、仕事をしている
主婦です。時には、肩がこ
り、いやな時もありました。
それで、こんな状態では、
自分の体を、だめにしてし
まう事に気が付き、毎朝子
供達を送り出した、わずか
な時間を利用して、体力づ
くりをしようと思い立ちま
した。

最初は、歩く事から始め
……息も切れ、とてもつら
い毎朝でした。けれども、
今では日課の一つになって
居ります。こうして体の調
子も大変良く、これからも
出来る限り続けて行きたい
と思っています。

わが街にも、子供達から
お年寄り迄が、自然に恵ま
れた、環境の中で体力づく
りが、出来る様、施設の充
実を、はかって頂ければと
思います。

三春に思う

高田 将平

北町 三春郵便局



地域のために

須藤 吉雄

丈六 会社役員

三春がこのような街にな
ればについては、
一、一夜城でなく本当のお
城がある公園が遊園地のあ
る街。
二、図書館のある街。
三、敬老園やあぶくま荘な
どは、老人とのつながりを
もつために、住宅団地の中
にある街。
四、「町民文化センター」
のある街。

私は、子供達の件で一言
ふれたいと思います。
今、思えば二年前「いじ
め」と言う社会問題が不安
でした。その時これは、親
先生、地域の方々が一つの
パイプにならなくてはと思
い、近所の小学校六年生の
子供会を作ってみようかと
相談したのです。彼らは心
良く賛成してくれました。
でも、漠然と会を運営して
いたのでは、意味がありま
せん。そこで二つの事をテ
ーマに決めました。一つ、
地域のゴミ集め、二つ、あ
いさつ運動、年間の行事と
しては、さくら植え、海水
浴、勉強会、いも煮会、餅
つき大会等行っています。
今では、親同志も和気藹々、
楽しく行っています。「会
費は、月一人二百円です。」
話しは変わりますがこれか
らの町づくりは、目標を定
め、一人ひとりの気持が一
つになったとき、素晴らしい
未来が訪れることと思わ
れますし、時に優しい心、
思いやりのある心、ボラン
ティア精神、これらのこと
が自然に出てくれば、やが
て希望のもてる三春町にな
ると信じております。



子供 初夢

町の公民館に本を借りに
来る三春小学校の四年生た
ちに三春の将来についての
初夢を語ってもらいました。

○三春の町の中に鉄道が通
って、新幹線が走ればい
いな。

○かわいい小物などを売る
店がふえればいいな。

○わざわざ郡山に出かけな
くても、いろいろな子供
向けの物が買えるお店が
ほしいな。

○ディズニーランドのよう
な大きな遊園地が出来れ
ばいいな。

○郡山のように街がとても
にぎやかになればいいと
思う。

○町の中にデパートが出来
るといいな。

○空までエスカレーターが
出来て、三春を見おろせ
るようになればいいな。

○中央大町(商店街)が広
くなって、買い物がい
やすくなればいい。

○一階が商店街で、上が住
宅の高層ビルが建つとい
いな。

○お城山に、子供たちが遊
べるようなものがあると
いいな。

「ママあてクイズ 答え」

佐藤 直美②(久美)

村上俊太郎③(芳枝)

春山 裕輝⑤(恵子)

鈴木佐和子⑥(静子)

増子あゆみ①(好子)

橋本 アヤ④(ミヨ子)

()内はお母さん名

楽しみながら 歩ける街

吉田 清三
大町
自営業

若い人が楽しみながら歩ける街ができれば？

ある日、ある時、ある場所、今回の原稿を書いてほしいと依頼があった時に何にしようかと思ったところ、若い人に言われた。今の商店街に対する意見で有るが出るは、出るは大騒ぎとなった。その中から幾つか取り上げてみると、若い人が何故三春町を歩くことが出来ないのか？まず、駐車場の問題が一番先に出て来る。予想はしていたがこれほどとは思ってはいなかった。駐車場がないだけで、ほかの商店に行くだけではなく、ほかの市町村へまで行ってしまう！更にその上にはほかの物までも衝動的に買物をしてしまう。

次に入ってみたくなる店が全然ないと言うことも：世間の目がこわい、入ると買わないと出て来ることが出来ない、



私の目標

村上弘美
三春小五年

私の、今年の目標は、二つあります。二つともとても簡単なことなんです。私に、とっては大変な事です。去年は、クラスの三輪先生に、

「本をたくさんよみなさい」と言われたのですが、あまり実行しませんでした。一年間で二十さつ位しかよみませんでした。月平均にしたらたった一・六さつ位です。本をよめば文章を書くのも上手に、なれるいろいろなおぼえることもできます。主人公に、なったつもりで、いろいろないけんする事もできます。今年には月に十さつ位は、よんでみたいと思っています。

二つ目は、三春小学校の六年生としてはずかしくない生徒に、なりたいと思います。明るくあいさつができずなおに、ありがとうといえる生徒に、なりたいと思います。来年は、中学ですから学習もがんばりたいと思います。小学校最後の一年間を、一日、一日、大切にすごしたいと思っています。

初詣にて

元日の早朝、三春町内に太鼓の音が響きわたりました。これは、大町太鼓保存会（大槻明夫会長）が三春

に昔から伝わる祭り囃子を奉納したものです。この会では、毎年実施しているもので、初詣に来ていた人も、

この勇壮なちさばきに、しばし目を止め拍手をおくっていました。

編集室

▼明けましておめでとうございませう。今年も千里走って千里還る虎の年。虎にならうなら「騎虎」の勢いで進む年。編集委員一同、清新な気持ちでこの「三春わが街」づくりに邁進するつもりです。

▼今年も表紙には、さまざまなわが街の「顔」が登場します。近所の奥さん、商店でよく見かける御主人、学生、子供達など。三春出身で活躍している人も取材するつもりです。

新年号には、フレッシュな顔で……と健康優良児とお母さんです。（中村利孝）▼第二号で特集したテレビ中継局の設置について問い合わせがありましたので、その後の経過をお知らせします。昨年十二月中旬、仙台電波管理局により設置認可を受けており、現在の予定では二月中旬には工事完成。二月二十日より二十二日まで試験電波を発信し、二十四日に電波管理局の検査を受け、いよいよ二月下旬には正式に電波を発信できそうです。アンテナは、新たに設置されるのではなく、現在あるものを利用することになります。KFB（福島放送）が五十チャンネル、TUF（テレビユー福島）が四十八チャンネルです。これによりテレビ難視聴問題は一部を除いて解決される見通しとなりました。（新野徳秋）

文中敬称略

□ コミュニティだより

「三春わが街」第三号

発行日 昭和61年1月15日

発行 三春まちづくり協会

事務局

三春町商工会内

編集 三春まちづくり協会

会調査広報特別委員会

事務局 三春町公民館内

TEL (六二) 三八三七

